

# 幸手市文化遺産だより



VOL.14

## 昭和50年(1975)

- 4月1日 町立長倉小学校開校
- 4月 上水道第5期拡張工事着工

## 昭和51年(1976)

- 3月 権現堂桜堤に若木150本を補植
- 4月1日 町立栄第二小学校、同栄中学校開校

## 昭和52年(1977)

- 3月 県内初、役場敷地内に災害用備蓄倉庫完成
- 4月 都市計画街路計画決定
- 5月 浦和地方法務局幸手出張所新築完成、業務開始

## 昭和53年(1978)

- 3月25日 商店会連合会発足
- 4月1日 町立幸手東小学校、同西中学校、同東中学校開校
- 4月 町立第三保育所開所
- 12月 第二次石油ショックが起こる

## 昭和54年(1979)

- 4月 町立吉田幼稚園開園

## 昭和55年(1980)

- 3月 幸手町文化団体連合会発足
- 4月 埼玉県立幸手高等学校開校
- 11月7日 合併25周年記念式典を実施、町民憲章・町章をはじめ町の花が桜、町の木が横に制定

## 昭和56年(1981)

- 4月 吉田地区内(3.2km)で国道4号バイパス開通
- 4月 幸手町保健センターのオープン
- 4月1日 幸手町運動広場設置
- 10月 町の人口が50,000人を突破

## 昭和57年(1982)

- 4月 ひばりヶ丘桜泉園し尿処理施設が運転開始
- 4月 町立緑台小学校開校
- 4月 B&G財団幸手海洋センターのオープン
- 7月1日 新築移転した町立図書館(緑台2丁目)開館

## 昭和58年(1983)

- 4月 ひばりヶ丘桜泉園ごみ処理施設が運転開始
- 11月 電話番号の市内局番が2ケタに

## 昭和59年(1984)

- 3月 国道4号バイパスが町域内で全面開通
- 4月1日 町立吉田小学校開校
- 4月 ひばりヶ丘桜泉園粗大ごみ処理施設が運転開始
- 町立武道館のオープン、消防署東分署が業務開始
- 9月1日 旧吉田第二小学校舎を改装し吉田幼稚園に
- 11月 幸手工業団地進出予定企業決定

## 昭和60年(1985)

- 1月9日 幸手町西公民館・西農村文化センター新築開館
- 2月 町立権現堂川小学校を新築移転
- 4月 町立児童館のオープン
- 5月 神扇に幸手町農協乾燥調整施設(ライスセンター)完成
- 10月 10月1日現在で国勢調査が実施され、幸手町の人口が51,462人・世帯数が13,931戸と集計される

## 昭和61年(1986)

- 4月17日 町立老人福祉センターのオープン
- 4月 幸手町高齢者事業団発足
- 8月26日 地方自治法の規定により、埼玉県北葛飾郡幸手町を幸手市とする旨、埼玉県知事から届出があり、町を市とする処分がなされた(自治省告示第140号)
- 10月1日 幸手市 市制施行、「文化都市」宣言、市民憲章制定



昭和50年 誕生1か月後の長倉小学校



昭和55年 合併25周年記念式典 (幸手中体育館)



昭和56年 移転新築を待つ町立図書館



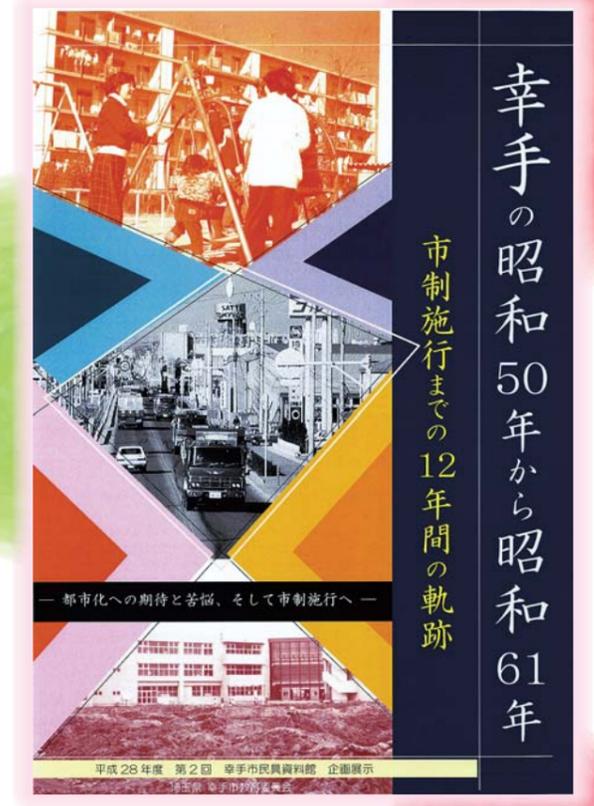
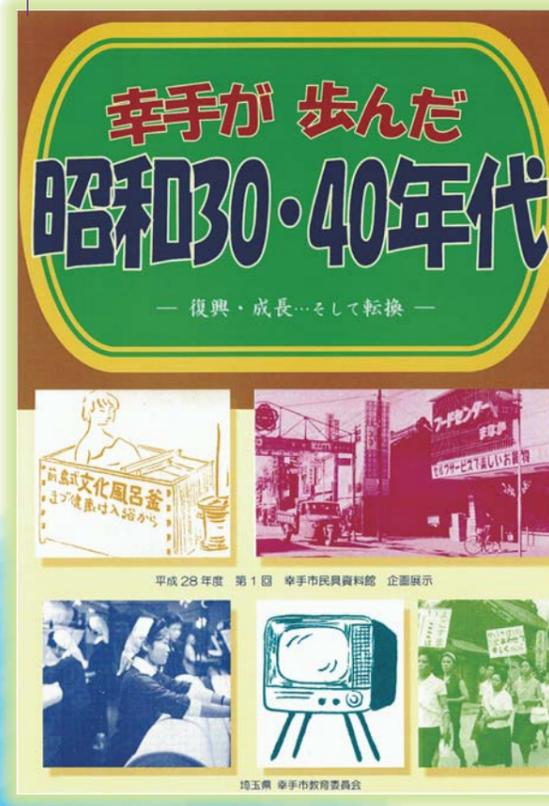
「幸手町を幸手市とする処分申請関係書類」(社会教育課 郷土資料室収蔵)

こうした資料は、市制施行の歴史を伝える歴史的公文書として貴重であり、社会教育課では積極的に収集・整理・保存し、今後公開していく予定である



昭和61年10月1日に幸手中学校の体育館において挙行された幸手市制施行記念式典の様子

## ● 幸手町から幸手市へ — 幸手の風景に宿る昭和という記憶遺産 — 1



### 平成28年度に開催した民具資料館 企画展示のふたつの図録

恒例になった民具資料館の一般公開にあわせて小さな企画展示を開催しています。特に力を入れてきたテーマは、「昭和時代の幸手」です。

まず、平成25年11月には、「『幸手ニュース』が遺してくれた懐かしい昭和の幸手写真展」で昭和25年から昭和29年までの幸手を取り上げました。続いて平成28年5月には、「幸手が歩んだ昭和30・40年代 — 復興・成長、そして転換 —」を、さらに同年11月には第3弾として「幸手の昭和50年から昭和61年 — 市制施行までの12年間の軌跡 —」を開催しました。この12年間に注目したのは、昭和61年が幸手町の終焉と幸手市誕生 — 「市制施行」を同時に迎えた年であったのがその理由です。

3つの展示では、太平洋戦争で荒廃した日本が、民主主義を旗頭に復興を遂げ、高度経済成長期をもたらした時代に、力強く生きた人びとの姿を垣間見ることができました。国も地方も、そして幸手町民も、躍起になって夢と希望の実現に突き進み、やがて訪れた都市化の波と急激な人口増加は、幸手町が抱いた「幸手市へ」という夢を実現させます。

市制施行は、昭和61年10月1日に行われました。

幸手市文化遺産だより 第14号 平成29年3月1日発行

編集：幸手市教育委員会 社会教育課 (郷土資料室開設準備担当)  
〒340-0192 幸手市東4-6-8 TEL 0480-43-1111 内線643  
発行：幸手市教育委員会



昭和30年から昭和61年までの32年間を略年表と写真で紹介します。  
ふるさとの風景に宿るご自身の昭和の記憶を思い重ねてみてください。  
来し方を振り返ることには、未来の幸手を創造する力が秘められているはずです。

昭和30年(1955)

- 1月 桜田村中川崎・下川崎の2大字を編入(第2次合併)
- 2月 新幸手町の広報として「幸手ニュース」第1号発刊
- 4月 八代村と豊岡村の一部4大字が合併(第3次合併)
- 4月 第1回町議会選挙が行われ、新議員30名決定
- 4月 新4号国道計画測量の実施
- 4月 幸手観光協会設立
- 6月 幸手商工会発足
- 7月 婦人会連絡会結成、幸手町農業委員会発足
- 10月 第1回町民体育大会開催
- 12月 第1回農産物品評会(幸手町農業祭)開催

昭和31年(1956)

- 1月 旧八代村の一部が分離し杉戸町へ
- 9月 旧八代村の一部(字茂高入)が分離し杉戸町へ
- 10月 新教育委員会発足

昭和32年(1957)

- 1月 ボーイスカウト隊発足、正式に登録
- 4月 全町に国民健康保険事業再開
- 4月 新農村建設事業の地域指定を受け農業振興事業執行
- 10月20日 上船渡橋の改修完了

昭和33年(1958)

- 3月31日 行幸中学校廃止(幸手中学校に吸収統合)
- 4月 新国道(現在の国道4号)開通
- 7月 蛍光灯の街路灯が全町に287基設置
- 11月23日 公民館主催の第1回文化祭開催

昭和34年(1959)

- 2月 幸手町町章決定
- 4月 上水道事業開始
- 8月 塵芥車購入、ごみ収集事業開始

昭和35年(1960)

- 3月 上水道第1期創設工事着手
- 3月31日 上高野中、権現堂川中廃止(幸手中学校に吸収統合)
- 4月 会員制度による幸手観光協会発足
- 5月 幸手町浄水場建設着工

昭和36年(1961)

- 4月 旧幸手地域に上水道給水開始
- 5月 吉田第一小学校の完全給食開始
- 10月 若妻学級開始
- 11月1日 幸手中学校の竣工式開催

昭和37年(1962)

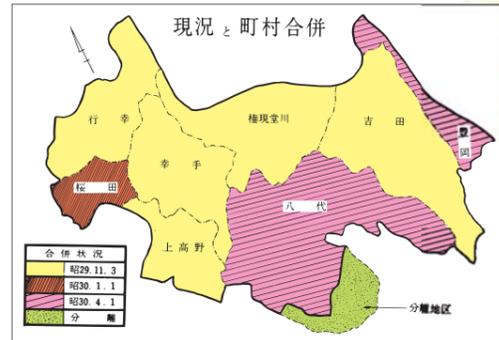
- 1月 し尿ごみ処理組合が幸手・杉戸・栗橋・鷺宮の4か町で発足
- 4月 第1回老人会結成
- 6月1日 町内6農業協同組合合併、幸手町農業協同組合発足
- 9月 土地改良区の連合体「幸手領土地改良区協議会」発足

昭和38年(1963)

- 2月 農業構造改善事業促進協議会発足
- 4月1日 幸手町社会教育委員・幸手町体育指導委員設置
- 4月 上水道が全町域に給水事業開始
- 8月 上水道第2期拡張工事着工

昭和39年(1964)

- 2月11日 関宿橋・境大橋の開通式開催
- 4月1日 幸手町体育協会発足
- 9月 4か町衛生組合がし尿処理場の建設着工(旧鷺宮町八甫)
- 10月 東京オリンピック開催
- 10月 上水道庄内古川両側に給水開始
- 10月 幸手農協で有線放送開始



昭和31年に分離した旧八代村の一部を示す現況図(町勢要覧「65さって」より)



昭和33年に開通した新国道4号線



昭和34年2月広報誌「さって」第20号 昭和33年 桜まつり店頭装飾コンクール



昭和39年 市街地商店街に看板建築ブーム到来



昭和39年 有線放送事業の試験交換

昭和40年(1965)

- 1月 第1回ロードレース開催
- 4月 埼玉県が権現堂川用水周辺を工業適地に選定
- 6月 合併10周年を記念し町勢要覧「65さって」を発行
- 10月 国勢調査で町の人口が25,169人となる

昭和41年(1966)

- 8月 幸手町を含む6町村が幸手都市計画区域に指定
- 9月 役場庁舎起工式実施、新築工事開始
- 9月 し尿処理場の全面操業開始
- 11月 住居表示整備発足、町名と町割を決定

昭和42年(1967)

- 3月 幸手電報電話局が自動化に
- 4月 住居表示実施、小字名廃止、南・中・北の各丁目となる
- 4月 青少年スポーツ活動の指定町となる
- 8月 町役場を新庁舎に移転
- 10月 市街地大通りに歩道設置
- 11月 幸手町外3か町衛生組合のごみ焼却場建設着工

昭和43年(1968)

- 1月 開発公社の宅地造成が進み分譲実施
- 2月 市街地に舗装工事を実施
- 4月 町内会の再編成が完成、町内が新住居表示区域内で結成
- 7月 幸手町外3か町衛生組合のごみ焼却場完成
- 10月 町営住宅建設着工(第1回分は20戸)

昭和44年(1969)

- 4月 農業共済組合が広域合併し北葛飾郡北部農業共済組合発足
- 4月 町政モニター制度発足
- 11月 都市計画審議会設置

昭和45年(1970)

- 1月 市街地の県道が駐車禁止に
- 7月 幸手小学校体育館と教室増築工事着工
- 9月 町立第一保育所開所

昭和46年(1971)

- 3月 幸手中学校の再建工事着工
- 7月 吉田中学校と八代小学校にプール完成
- 12月 幸手中学校の再建工事が完了
- 12月 開発公社の宅地分譲実施(千塚地内西第一団地)

昭和47年(1972)

- 4月 神扇の内水面圍場整備事業完了
- 4月 町内にスクールゾーンを指定
- 4月 幸手町文化財保護審議委員・同文化財専門調査委員設置
- 8月 歩行者天国実施
- 11月 住宅公団幸手団地完成
- 12月1日 住宅公団幸手団地入居開始
- 12月1日 町立栄第一小学校設置
- 12月 マルエツ団地店が開店

昭和48年(1973)

- 1月 町の人口が30,000人を突破
- 2月 東北新幹線着工
- 5月 広域農道の造成開始
- 5月 町立第二保育所開所
- 7月1日 幸手町中央公民館を新築開館
- 9月 農村文化センター完成
- 10月 第1次オイルショックが起こる
- 12月 都市計画新用途地域を指定

昭和49年(1974)

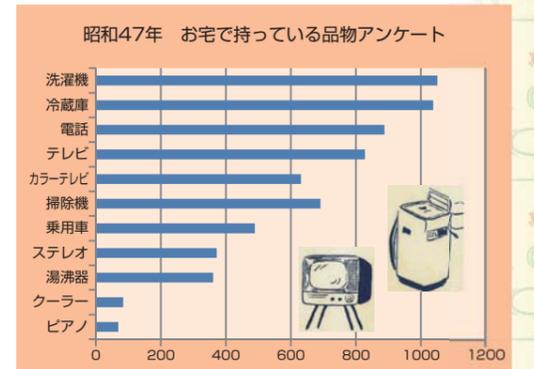
- 4月 幸手町消防署発足
- 4月 大気汚染測定室を役場に設置
- 4月 土地開発公社発足
- 6月 火葬場完成
- 7月 町の人口が40,000人を突破
- 7月 土地開発公社の宅地分譲実施
- 9月 神扇ライスセンター完成



昭和42年に完成した町役場の新庁舎



昭和44年 大通りに設置された信号機



昭和47年 町内3中学校に通う生徒がいる1,088世帯に「町政とくらしのアンケート」を実施した結果、冷蔵庫と洗濯機の普及率が高い



昭和47年12月1日から入居が始まった住宅公団幸手団地



昭和48年 完成した中央公民館



昭和49年 完成間近の消防署庁舎